



# 一期一会

山はひさこ

タイトル「一期一会」 山口壽子さん



2021年3月23日  
サントピア学園駅伝大会にて

## クリスマス会

12月24日は毎年恒例のクリスマス会が行われました。

今年のクリスマスは「サンタの部屋」が登場し、サンタからお菓子にピザにケーkeeにと盛りだくさんのプレゼントを渡されました。利用者さん代表として峯沙央里さん、近藤聖子さん、泉祐美子さんがサンタガールになつて、サンタさんのお手伝いをしてくれました。



## しづく新年会

毎年あいわ会全体で行われていた新年会はコロナ禍で中止になり、令和3年の新年会は各事業所別で行い、しづくでは1月19日に実施しました。

食事は茶碗蒸しで有名な老舗「吉宗」から茶碗蒸しと蒸し寿司のセットとサイドメニューとして唐揚げとポテトを頂きました。



## 節分 & バレンタイン

2月の行事として、2月10日に節分&バレンタイン会を行いました。午前の部は節分の豆まきを始めました。豆に見立てたボールを手にし「鬼はーそとー福はーうちー」と鬼に扮したスタッフめがけて力いっぱい豆（ボール）を投げつけ、邪氣（コロナウイルス）払いを行いました。ボーラーをぶつけることでコロナ禍でのストレスが発散できたと思います。



午後からはバレンタイン会として、チョコレートフォンデュをして、いろんな食材をチョコにつけて食べ、最後はドーナツまで登場しました。



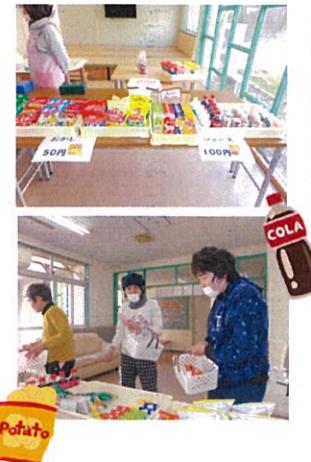
## サントピアマート開店

コロナ感染第3波からなかなか外出が出来ない利用者さん達の為に、少しでもお買物気分を味わって頂こうと企画したのが臨時園内販売「サントピアマート」です。いろんなお菓子やジュースをそろえたところで待ちに待った開店！みんな自分の好きなお菓子を手に取り購入していました。



## しづくや春のパンまつり

3月18日、春の陽気になつたという事でスタッフが作ったパンを売る「しづくや春のパンまつり」を実施しました。実際には現金で買う訳ではなく、おもちゃのお金で利用者さんの好きなパンを5個選んでいただき、昼食に食べてもらうという企画でした。昼食時には自分で選んだパンを口いっぱいに頬張り大満足のランチでした。



3月23日、春の行事としてサントピア学園駅伝大会と桜祭りを同日開催いたしました。当日は晴天でとても暖かく、行事をするにはもってこいの天気でした。まずは午前の部に駅伝大会が始まりました。この日の為に練習してきました利用者さんはやる気満々で入場行進をしました。



## サントピア学園駅伝大会 & 桜祭り

駅伝が終わると桜の木の下へ移動し、桜祭りの始まりです。今回はお弁当もゴージャスでみんな大満足でした。



お腹が満たされた後は、表彰式と利用者さん達によるカラオケ大会、スタッフのアトラクションを行いました。



最後は駅伝賞品でもらったおやつを食べながら花見をして幕を閉じました。コロナ禍の中でも、学園内で楽しんでもらおうと企画し、初めての駅伝＆桜祭りでした。が、利用者さん達の楽しそうな笑顔が見れて、とても良かったです。

## 紫雲エイサー来園

3月13日（土）に紫雲エイサーがボランティアで来園し、沖縄の伝統芸能「エイサー」を演舞してくれました。



途中から利用者さん達の参加型演舞になり、エイサーの音に合わせて段ボールで作った太鼓を叩き、最後まで笑顔が多く見られました。

## 温暖化でお寿司が食べられなくなる？

先日、「地球クライシス」という地球温暖化に警鐘を鳴らす番組が放映されていました。この問題は相当前から取り上げられていたことは皆様もご承知のことだと思います。地球の平均気温はここ数百年で約1度上昇したと言われています。こうした気候変動は人類の生活や自然の生態系にさまざまな影響を与えています。氷河の融解や海面水位の上昇、洪水や干ばつ、山火事の延焼・拡大など深刻を極めています。（他国でのこと、関係ないと思う人も多いでしょうが・・・）

日本もこのままでは、最高気温が30度以上となる日が年間約100日、1年の3割近くが真夏日となる日もそう遠くないと言われています。

もしそうなれば通常の農作物栽培も限定され、季節感のある旬の野菜というのも画餅となるでしょう。現に最近の野菜の一部は水耕栽培によりビルの中の工場で生産？されたりしています。日本（栃木県）でもありましたが、アマゾン流域やカリフォルニア州での大規模な山火事により多量の酸素が消費され、逆に二酸化炭素が増えています。石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料の弊害も同様で、電気自動車や水素自動車への転換が世界規模で進められています。

一方こうした温室効果ガスによってもたらされた熱の約9割は地球の3分の2を占める海で吸収されるそうです。そのため、海水温はここ百年間に日本海1.5度、太平洋で0.9度上昇しているとのこと。そのため、魚種によっては、例えばサンマやサケなど水温が低い所を好む魚は水揚げが激減していると言われています。また、海に二酸化炭素が溶け込み酸性化の進行によるプランクトンやサンゴの成長への影響は計り知れません。寿司ネタとして重宝される魚介類の大部分は今後40～50年で獲れなくなるという話もあります。だから、食べるのも今のうちです。

海に関連して、気候変動が及ぼす海面水位の上昇は、沿岸や平地、小島に住む人々の暮らしに大きな影響を与え、台風による高潮、河川の氾濫、地震による津波など枚挙にいとまがありません。その他、最近深刻なのは線状降水帯と言われものです。主に梅雨の時期、次々に発達した雨雲が列（長さ50～300km、幅20～50km）をなし、数時間にわたって同じ場所を通過あるいは停滞することで多量の強い降水をもたらすものです。土砂崩れ、河川の氾濫など重大な災害に繋がる。こうした災害は今後毎年のことと予見されています。災害はもはや自然災害とは言い難く、人間の快適さ・欲望を優先した人為的な災害という事を自覚し、地球が汚れたら自分たちの明日も無くなるという危機感を一人ひとりが切実に共有するときではないでしょうか。

施設長 吉岡健仁

発行：社会福祉法人あいわ会  
障害者支援施設サントピア学園  
住所：長崎市松原町728番地2

TEL：095-839-2400  
FAX：095-837-1500

社会福祉法人あいわ会ホームページ  
<https://santopia.or.jp/>



社会福祉法人あいわ会



発行日：2021年 4月 1日

## 編集後記

桜が咲く季節となり学園の桜も開花しました。利用者さん達も季節の移り変わりを感じていると思います。昨年度は例年通りの外出が出来ずにいましたが、制限された状況でも支援員が一丸となり一期一会に掲載したような趣向を凝らした行事を行うことが出来ました。来年度も良い内容が届けられるように頑張ります。

新聞係（編集・校正）：奥村敏、山下陽一